

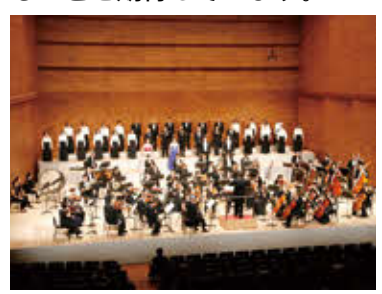


市長日記

音楽で地域貢献

文化振興や地域活性化に貢献したとして、島根県から令和4年度島根県文化奨励賞を受賞した「なかうみ交響楽団」。3月15日、同楽団の角久夫団長と小豆澤伸司事務局長から受賞報告を受けました。

音響に優れたアルテピアを拠点に、今後も生の音楽に触れる機会を市民に提供されることを期待しています。



◀ 中海圏域から40人が集い、活動しています（写真はアルテピアで行われた演奏会の様子）。



まちの話題や出来事を紹介します

たうんとぴっくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



比田地域の多機能拠点としてリニューアルオープンした「比田いきいき交流館」。新しくなったえーひだ市場（直売所）にカフェスペースを併設し、比田の食材にこだわった「玄米甘酒チーズケーキ」や「玄米粉もちもちクレープ」などを提供しています。 3月19日：えーひだ市場



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



未来を創造する学習

3月16日に安来高校で、同校2年生による「総合的な探究の時間」の学習発表会が行われました。2年生のテーマは「よりよい安来にするために」。福祉、農業、観光など、幅広い分野の中から生徒自ら取り組みたい課題を設定し、24グループが活動を重ねてきました。生徒が主体で考え動くこの授業では、地域講師にアドバイスをもらいながら、課題解決へ向けさまざまなアクションがとられました。

田中湊さん、仲田滉真さん、原大賢さん、小松原唯さんの班は、安来の伝統芸能である銭太鼓を題材に動画を制作しました。たくさんの地域の人が出演する動画で安来を盛り上げるとともに、市内外に安来の魅力を届けたいという思いがきっかけでした。

動画出演人数は延べ1040人（53組）。膨大なデータを編集し1本の動画にまとめました。できた動画は3月23日に安来高校のYouTubeアカウントで配信されています。

リーダーの田中さんは「1000人を超える参加者、制作面でお世話になった皆さんの協力があったって完成することができました。多くの人と関わった日々は学ぶことが多くありました」と話していました。



①安来節演芸館で記念撮影の「1000人銭太鼓プロジェクト」チーム。2次元コードから完成動画を視聴できます。②③発表会の様子。高校生が作ったチラシやパンフレットを市内で見かけるかもしれませんね。



▲どじょうすくい笑顔が1番と伝えられた子どもたちは、にっこりと素敵な表情を披露。

3月26日に「わくわく」Cマルシェ in 安来」が中海ふれあい公園で開催され、安来市、松江市、米子市などから107店が飲食や雑貨の出店をしました。このマルシェは、大規模なイベントにより安来を盛り上げること、店舗同士の異業種交流の場となることを目的に、安来青年会議所が企画しました。

どじょうすくい体験では、温泉旅館竹葉の小幡美香さんが踊り方を簡単にレクチャー。参加した錦織光斗さんは「腰を振りながら歩くのが楽しかった」と話していました。

賑わい戻すマルシェに

尼子経久が主人公の歴史小説「謀聖 尼子経久伝」シリーズ完結巻の出版を記念し、作者である武内涼さんの講演会「何故、尼子氏に魅せられるのか」が3月19日に和鋼博物館で開催されました。

講演では、幼い頃から歴史に興味を持っていた武内さんと経久との出会いや、知略と人徳を備えた経久の魅力について話がありました。参加した岩田智志さんは「月山富田城跡のガイドをしており経久のこともそれなりに知っていましたが、わかりやすく、魅力を再発見した講演でした」と話していました。



▲尼子の魅力についてまだ書き足りないと言語武内さん。今後も執筆を続けたいと話しました。

経久の魅力に迫る

令和4年度に開催された各種スピーチコンテスト・弁論大会で上位成績をおさめた市内中学生3人が3月17日、市役所で田中市長に受賞を報告。市長の前で思いや主張を堂々とスピーチしました。

受賞結果は次のとおりです。▽「少年の主張島根県大会」(青少年育成島根県民会議会長賞)：第一中学校3年仙田瑚々さん ▽「島根県中学校英語弁論大会」(第1位)：第一中学校3年森山紗菜さん ▽「北方領土に関する全国スピーチコンテスト」(審査委員特別賞)：第二中学校3年山本彩生さん



▲受賞した表彰状を手に持つ仙田さん(右)、森山さん(中)、山本さん(左)。

思いや主張、堂々とスピーチ



▲広瀬交流センターで練習を重ねてきた子どもたち。鑿を囲み、息を合わせて演奏しました。

春空に響く鑿囃子

3月5日に広瀬交流センターでふるさとまつりが開催され、地域のクラブなどの発表や作品展示のほか、鑿揃い打ちや尼子太鼓が披露されました。鑿揃い打ちは、1月3日に行われてきた地域の伝統行事です。コロナ禍で開催を見送っていましたが、今回、地区の文化祭にあわせ規模を縮小し実施。体に響く力強い太鼓の音に、一帯が盛り上がりました。

新田奏空さんは、「友だちの演奏を観に来ましたが、誘われて揃い打ちに参加しました。上達していくのが分かって楽しかったです」と話していました。